



Nara
Women's
University

Today

編集：奈良女子大学広報企画室

第8号
2007.6.1

学長再任 -国立大学法人4年目にあって-



国立大学の法人化4年目に入りました。優れた女性人材育成を行うことを目標に掲げ様々な教育を行っています。大学院での継続事業を含めて「魅力ある大学院教育」イニシアティブ(大学院GP)2件と、学部の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代GP)2件の採択を受け、学生の自主性・能動性を引き出す特色ある教育プログラムを実施しています。また、21世紀COEプログラム「古代日本形成の特質解明の研究教育拠点」も4年目を迎えました。また、平成18年度には科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業が3ヵ年計画として採

択され、大学院生から女性教員に至る研究者育成のキャリア支援の充実に努めています。「国際交流や社会連携」、「教育」、「研究」の三者を有機的につなぐことで、教育・研究の活性化を図ろうと考えており、国際的な交流の実質化を図りつつあります。本学で学んだ学生・院生の方々が21世紀の多様化する社会の中で生き生きと活躍され、それらが社会から評価される中で大学の存在感を高めたいと考えており、その目標に向かって全力を尽くしたいと思います。関係者の皆様方のご協力とご支援を心よりお願い申し上げます。

平成19年6月

学長 久米 健次

総合研究棟(文学系N棟)及び生協食堂改修工事終了



総合研究棟(文学系N棟)



昨年夏からの総合研究棟(文学系N棟)(旧文学部北棟)の耐震改修工事が平成19年2月末に完了しました。各階は文学系教員の研究室と中央北側の図書室からなっています。1階西側には国際課事務室、国際交流センター室があります。棟内のトイレにベビーシート・ベビーチェアを備え付けたり、身障者用はオストメイト対応のものもあります。また、授乳にも使えるフィッティングルームも設置しています。

生協食堂の改修工事も3月に終了し、食堂内は明るく装飾され、南側にオープンテラスや一人がけタイプのカウンター席を設けたりもしています。



生協食堂南側オープンテラス

21世紀COEプログラム 活動状況

21世紀COEプログラム「古代日本形成の特質解明の研究教育拠点」は、平成16年度の「21世紀COEプログラム(革新的な学術分野)」に採択され、現在まで研究を推進してきました。第4年度目に当たる本年度からは、新たな試みとして、本COEプログラムの研究成果を市民の皆様へ公開するため、連続市民講座「古代都市とその周辺」を開催することにいたしました。5月17日、その第1回目として、本拠点構成メンバーである出田和久文学部教授による「古代都市のかたち」が開講され、多数の市民の参加を得ることが出来ました。本プログラムの特色は、多様な研究分野からそれぞれに「古代都市」の諸相を解明するところにあります。このような本プログラムの特色を、本講座を通じて市民の皆様にご理解いただければ幸いです。



COE連続市民講座

「女性研究者支援モデル育成」事業活動状況

-生涯にわたる女性研究者共助システムの構築-

科学技術振興調整費による本事業(3年間)が始動し、平成18年度は事業本部を設置して、以下の取組みを行いました。母性支援相談室を設置し、カウンセラーによる相談業務を開始しました。Web上での子育て支援ネットワークの開発に着手、保育サポーター養成講座の開講(計17回)、女性教員と、主に博士後期課程修了者を支援するための教育研究支援員制度を実施、出産・育児・介護に関する学内の規定をまとめた冊子の作成や、臨時託児室開設のための利用規約案を作成しました。人間文化研究科学術交流委員会と協力して修了生ネットワークを発足させました。キャリア形成・維持のための講演会(計6回)や国際シンポジウムの開催、小中高一般向けの科学講座の開講(計6回)、男女共同参画社会実現へ向けた意識啓発のための講演会と国際シンポジウム、などを実施しました。平成19-20年度には、これらを改良・充実し、生涯にわたる女性研究者の共助支援を推し進めていきます。



科学講座の風景

「研究紹介集・2006-2007」

社会連携センターでは、「研究紹介集2006-2007」を刊行しました。平成14年に産学官連携推進室で発刊された初版以来5代目となり、手軽に携帯できるA5サイズ、本学教員の研究活動の概要が分かりやすく記載されています。

ご希望の方には、郵送料のみで送付させていただきますので、社会連携センターまでお申し出ください。



地域貢献事業実施報告書

平成15・16年度の2年にわたる文部科学省の「地域貢献特別支援事業」の後を受け、平成17年度以降も「奈良女子大学地域貢献事業」として、様々な事業を展開してきました。

このたび平成18年度事業の概要と成果を取りまとめた「奈良女子大学地域貢献事業実施報告書 平成18年度」を刊行しました。



写真集(Photo Message)

平成17年2月より原則毎週1回配信していますメールマガジンが平成19年4月に100号を数え、「大学からの季節便り」で紹介した学内行事・風物・近隣写真も1000枚を超えました。今回その中から約200枚を収録した写真集Photo Message(A5判)を発刊しました。

メールマガジン登録希望の方はこちらから申し込んでください
(http://www.nara-wu.ac.jp/kenkyou/e-magazine/mail_magazine.html)



入退館管理システム運用開始

安全管理の観点から大学キャンパスの各建物・南門を平日・土曜日の20時から翌日7時まで(日曜日・祝日は終日)施錠することになり、入退館管理システムの運用を6月から開始しました。

入退館管理システムに登録すれば、職員証、学生証で各建物等の入口にあるICカード読取装置にタッチするだけで閉錠時間帯でも開錠できます。

平成19年度役職員紹介

●役員会

学長	久米 健次
理事(企画・研究担当)・副学長	清水 哲郎
理事(教育・学生支援担当)・副学長	井上 裕正
理事(管理運営担当)・事務局長	吉野 正巳
理事(非常勤)	本田 元子

●監事(2名)

業務監査担当(非常勤)	岡 秀松 氏
会計監査担当(非常勤)	上野 祐子 氏
(株式会社マーケティングダイナミックス研究所代表取締役)	

●経営協議会委員(10名)

学長	久米 健次
理事(企画・研究担当)	清水 哲郎
理事(教育・学生支援担当)	井上 裕正
理事(管理運営担当)	吉野 正巳
理事(非常勤)	本田 元子
(学外有識者(五十音順))	
河井 規子 氏(木津川市長)	
志水 義文 氏(摂南大学法学部客員教授、 勸日本調停協会連合会参与)	
田代 和 氏(近畿日本鉄道株式会社相談役)	
中西 進 氏(前京都市立芸術大学長、 奈良県立万葉文化館長)	
鷲塚 泰光 氏(元独立行政法人国立博物館理事、 元奈良国立博物館長)	

●教育研究評議会評議員(18名)

学長	久米 健次
理事(企画・研究担当)	清水 哲郎
理事(教育・学生支援担当)	井上 裕正
理事(管理運営担当)	吉野 正巳
文学部長	出田 和久
理学部長	池原 健二
生活環境学部長	磯田 則生
人間文化研究科長	野口 誠之
附属図書館長	坂本 信幸
附属学校部長	野口 哲子
教授(文学部選出)	佐久間春夫
教授(文学部選出)	三野 博司
教授(理学部選出)	塚原 敬一
教授(理学部選出)	荒木 正介
教授(生活環境学部選出)	今岡 春樹
教授(生活環境学部選出)	小城 勝相
教授(人間文化研究科選出)	今井 範子
教授(人間文化研究科選出)	岩淵 修一

女性研究者を育てる教育環境デザイン

—女子大学における課題と展望—

12月3日(日)記念館2階講堂において、魅力ある大学院教育イニシアティブ「生活環境の課題発見・解決型女性研究者」と女性研究者支援モデル育成事業「生涯にわたる女性研究者共助システムの構築」が中心となり、板東久美子内閣府男女共同参画局長による「女性研究者が育つ環境作りを目指して—



施策の動向と女子大学への期待—」続いて羽入佐和子お茶の水女子大学副学長による「国際競争力を高める女性研究者育成プログラム—お茶の水女子大学のデザイナー—」と題しての講演が行われました。

講演の後、今井範子人間文化研究科教授をコーディネーターとして、会場からの意見や質問も交え、活発な意見交流が行われました。

佐保会館改修工事終了

国の登録有形文化財指定を機会に昨年から行われていた社団法人佐保会(奈良女子高等師範学校・奈良女子大学同窓会)本部の佐保会館の改修工事が3月終了しました。



式典での学長祝辞

4月7日(土)佐保会館で佐保会館修理完成披露式が行われました。式典では多数の方をお迎えし、東大寺別当森本公誠猊下による記念講演「奈良時代の教育制度」、大森幹子氏によるオルガン演奏が行われました。

また、式典以降佐保会館登録有形文化財指定・修理完成記念講演会も順次行われています。



AED設置

本学では、本部管理棟、守衛室、保健管理センター、理学部C棟と体育館の5ヶ所にAEDを設置しました。

AED(Automated External Defibrillator: 自動体外式除細動器)とは、心臓がけいれんする心室細動等の状態に、除細動が必要かを判断し、救命の手順を一般市民にも分かるように音声で指示しながら、電気ショックを与え、心臓の働きを戻す医療機器です。AEDは医療者でなくても、誰でも(教職員、学生などでも)使える器械です。

公開講座のご案内

(<http://koto.nara-wu.ac.jp/lle/info4.html>)

平成19年度は下記の公開講座を開設しています。すべて無料です。詳しくはホームページをご覧ください。

講 座 名	開 催 日 時	受 講 対 象
鉄と都市の日本史 - 奈良試論	6月 8日(金)・15日(金) 18時～20時 (終了)	一般 70人
初心者のための情報セキュリティ	7月14日(土) 13時30分～16時30分	一般 50人
数学の楽しみ2007	8月 7日(火) 10時～17時	一般・教員 100人
遺伝子解析の方法を体験しよう	8月 7日(火) 10時～16時 8月 8日(水) 9時30分～12時	教員 10人
パソコン活用講座 ～プレゼンテーション～	8月11日(土) 10時～16時	一般・教員 40人
パソコン活用講座 ～イラストレータ入門～	8月23日(木)・24日(金) 9時30分～16時	一般・教員 40人
たばこのうそ・ほんと	9月 8日(土) 13時30分～15時	一般 50人
西欧の文化、言語、社会	9月15日(土) 13時～16時30分	一般 50人
粒子物理の最先端とその応用	9月22日(土) 13時30分～16時30分	一般 50人
天平文化と美術	10月 6日(土) 13時30分～15時	一般 200人
外国文学にみる父と娘 -ジェンダーの視点から	10月13日(土)・20日(土) 14時～16時	一般 60人
万葉人のくらし	11月10日(土) 13時30分～15時	一般 100人
奈良の庭から京都の庭へ ～日本の庭園文化・そのルーツと展開～	11月17日(土)・18日(日) 13時～16時15分	一般 100人
食とくらし	12月 1日(土) 13時30分～15時	一般 200人

平成19年春の記念館一般公開



記念館一般公開は重要文化財に対する理解と認識を得るとともに、開かれた大学として地域との連携を深めることなどを目的に、毎年春と秋の2回開催しています。今回の特別展示は、「大学所蔵正倉院模造宝物展」と「百年ピアノ展～修復の軌跡～」です。

「正倉院模造宝物展」では、本学の古代学学術研究センターと21世紀COEプログラムが共催し、奈良女子大学が所蔵していた貴重な模造宝物や複製服飾等の数々を展示しました。「百年ピアノ展」では、百年ピアノが本学の前身である奈良女子高等師範学校の創立時(明治42年)に購入された当初の様子や百年ピアノについての紹介、また、平成17年6月より行った学外での修復作業の様子などを紹介しました。



～ひな人形展～

記念館の一般公開に先立ち旧暦の桃の節句の時期にあわせた「ひな人形展」が記念館2階講堂及び佐保会館において行われ、異なる時代の貴重なひな人形や日本人形の他にも、昔の着物や遊具、中国と日本のかんざしやアクセサリ等も展示されました。

ランチタイムコンサート

本学では記念館2階講堂にて、平日昼間のランチタイムコンサート「百年ピアノの音に心傾けるひととき」を平成19年1月より月1回の割合で開催しております。時間は12時20分から約30分程度で、学内外より演奏者をお招きしています。



記念館一般公開中(5月2日)のランチタイムコンサート

入場料、事前申し込みは不要です。お気軽にお越し下さい。

学生表彰

学生表彰制度による表彰式が、2月6日(火)に行われました。

この制度は課外活動や社会的活動などで特に顕著な成果を挙げた本学学生の個



学長と記念撮影

人又は団体を表彰するもので、今回は奈良市なぎなた大会優勝の学生、奈良学生庭球選手権大会女子シングルス優勝の学生、関西女子学生バスケットボールリーグ戦優秀選手賞の学生等19名と関西合唱コンクール銀賞の音楽部、近畿地区国立大学体育大会優勝の卓球部等5団体が学長より表彰を受けました。

キャンパスメンバーズに加入

～国立博物館・国立美術館～

本学は、平成18年度に奈良国立博物館と京都国立博物館のキャンパスメンバーズに加入し、平成19年度からは国立美術館(東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立西洋美術館・国立国際美術館・国立新美術館)のキャンパスメンバーズにも加入しました。

本学学生は学生証を提示することにより、国立博物館及び国立美術館の平常展・常設展(国立新美術館を除く)を無料で何度でも観覧することができます。また、特別展・企画展については、入館料が必要となりますが、団体割引と同様の割引料金で観覧することができます。(ただし、正倉院展など一部の展覧会では、取扱いが異なる場合があります。)

アフガニスタン女子教育支援

～女性教員研修に一区切り～

五女子大学(お茶の水女子大学、津田塾大学、東京女子大学、奈良女子大学、日本女子大学)コンソーシアムによるアフガニスタン女子教育支援の取組みにおいて、平成18年度も約1ヶ月に渡り、アフガニスタンの女性教員を招聘し、研修を実施しました。本学では、1月28日(日)から31日(水)までの4日間のスケジュールで、附属学校園や東大寺、奈良市立大柳生小学校などの協力を得て行われました。今回で、5年間の教員研修プログラムが最終年度を迎え、研修員の数はのべ71名に上りました。

研修前半は、世界遺産等を見学し東大寺大仏殿副院主に講義を受け、大仏の象徴する世界、そして平和を願う人々の大仏建立への思いを推知する機会を得ました。また、本学生活環境学部伊達教授による「女性教員の栄養と健康」と題する



説明を受ける研修員

講義の中では、参加型形式で実際の食事内容のバランス度を考えるなどの工夫が図られました。後半では、附属学校園や大柳生小学校で、地域とのつながりによる様々な交流の形態に触れ、地域住民と一緒に作り上げる教育現場が紹介されました。研修員はみな積極的に交流に参加し、各シーンでの質疑応答も活発に行われ、各々の教育方法の発展に有意義な実地研修となりました。



大柳生小学校でのかるた取り

本研修の詳細や取組みについては、大学HP <http://www.nara-wu.ac.jp/Afghanistan/> や国際交流センター News Letter Vol.6で紹介しています。

学長主催修了等留学生懇談会

2月20日(火)、学長主催の卒業・修了外国人留学生懇談会が実施されました。3月に自国に戻る交換留学生を含め、11名の留学生を囲んで、和やかに歓談が行われました。



和やかな懇談会



記念撮影

久米学長からは、祝辞に添えて「一期一会」の言葉が送られました。学長から一人一人に記念品が手渡されると、各留学生は、流暢な日本語で感謝の言葉を述べていました。その後、ざっくばらんな歓談の中で、学長、副学長らと熱心に語り合う留学生の姿が見られ、充実したひとときでした。

大学教育の国際化推進プログラム採択

本学の学生等を海外に長期派遣し、海外の大学院等において学位取得等を目的に研究することを支援する「奈良女子大学長期海外留学派遣プログラム」を策定し、申請したものが採択されました。平成19年度は、1名の学生を米国に派遣する予定です。

海外留学説明会の開催

5月30日(水)、交流協定校との交換留学を中心に、制度の説明と短期語学留学との違いや注意事項、また本学の「長期海外留学派遣プログラム」の紹介を行いました。



現在、協定校から来学している留学生による母校の紹介のほか、協定校への留学から帰国した学生による体験談など、経験者から直接語られる話は、参加者の留学熱を刺激し、説明会終了後も、個々に質問を持って集まり、遅くまで留学にまつわる様々な話で盛り上がっていました。

～南京大学中国語研修～

国際交流センターは、本学の協定校である南京大学での夏期中国語研修を実施します。参加者19名、研修期間は8月17日から9月14日までです。研修内容等については、本学の中国語・中国文学系の先生方のご協力をいただき南京大学海外教育学院と調整を図り決めました。月曜日から金曜日まで午前中4時間・週20時間の中国語研修、また、午後の時間を利用し、太極拳の練習、書画の実習、南京市内見学などが組み込まれています。短期間の中国語研修ではありますが、発展する中国を見聞し、中国を代表する大学で勉強する機会を持つことは、学生たちのその後の勉学の心構えにも良い影響を与えるものと信じております。



国際交流往来

☆中国・南京大学海外教育学院の程愛民院長が、5月7日(月)学長を表敬訪問されました。

☆4月2日(月)、英国・レスター大学から、Michael Green教授がInternational Officeの久米学長と程院長 Clare Myttonさんとともに来学し、派遣学生との懇談を行いました。

☆韓国・梨花女子大学アジア女性学センターの金恩實所長が、2月6日(火)アジア・ジェンダー文化学研究センター主催の講演のため来日し、学長を表敬訪問されました。



Green教授らと

★12月24日～28日、人間文化研究科谷口洋准教授が協定校の中国・武漢大学および南京大学を訪れ、留学生の交流を推進する旨の確認を行いました。

★2月14日～22日、文学部千田准教授が協定校のオーストラリア・グラーツ大学およびドイツ・トリア大学を訪れ、両大学に留学中の本学学生等との懇談の機会もあり、直接留学生活についての話を聞くことができました。

★短期語学研修実施に向けての事前調査

3月24日～31日 文学部内田教授 ニュージーランド・オークランド大学、ビクトリア大学/3月24日～4月2日 文学部西出准教授 米国・UCデービス校、UCサンタクルズ校/3月27日～4月2日 人間文化研究科竹内准教授 米国タフツ大学、コロンビア大学

編集・発行 奈良女子大学広報企画室

編集責任者 清水哲郎(副学長)

連絡先 奈良女子大学総務・企画課

Tel 0742(20)3220 Fax 0742(20)3205

E-mail admin@jimu.nara-wu.ac.jp

